

# 戦争体験・平和への思いを受け継ぎ、次世代へつなぐ

国立市は、2015年1月に、市内在住の広島・長崎の原爆体験者の平和への思いを受け継ぎ、それを次世代に伝える「伝承者」を育成するため、「くにたち原爆体験伝承者育成プロジェクト」を発足しました。第2期育成プロジェクト（2017年実施）、第3期育成プロジェクト（第1期生・第2期生の中から希望者を対象に2022年実施）では、東京大空襲の体験の継承も行いました。

各育成プロジェクトを修了し、国立市から委嘱を受けた「くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者」が講話活動を行っています。

## ◆くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者

伝承者は、体験者からの聞き取りや実相学習、話法・朗読技術の基礎、語りの演習など、アドバイザーの指導のもと、15ヵ月間の研修を修了しました。現在、30代から80代まで計21名の伝承者（広島原爆伝承者12名、長崎原爆伝承者6名、東京大空襲伝承者10名（うち、7名は広島原爆または長崎原爆と東京大空襲の講話を担当）が、伝承講話を通して、平和の大切さを伝えています。

## ◆“伝承者の生の言葉”で語り継ぐ

戦争の体験を忘れないために、映像や文字で記録を残すことも大切ですが、国立市は、人から人へと直接語りかける言葉こそが、平和な世界を創る大きな力になると考えています。プロジェクトを通して育成された伝承者は、体験者から聞き取った体験や平和への思いを「事実を曲げない」「捏造しない」ことを原則として、伝承者自身の感性と生の言葉で、市民をはじめ多くの方に語り継いでいます。



令和7年度

# くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話

参加費無料  
申込優先

国立市内在住の広島・長崎の原爆体験者と東京大空襲の体験者から受け継いだ戦争の体験と平和への思いを、国立市から委嘱された伝承者が心を込めて語ります。

定期講話	会場	講話内容 <各回の伝承者は異なります>		
6月21日(土)	F S X ホール (くにたち市民芸術小ホール)	10時～ 広島原爆	11時～ 東京大空襲	6月～8月開催 申込WEBフォーム
7月24日(木)	矢川プラス	14時～ 長崎原爆	15時～ 東京大空襲	QRコード
8月3日(日)	国立駅前くにたち・ こくぶんじ市民プラザ	14時～ 広島原爆	15時～ 長崎原爆	
8月15日(金)	国立駅前くにたち・ こくぶんじ市民プラザ	13時半～ 東京大空襲	14時半～ 広島原爆	15時半～ 長崎原爆
8月22日(金)	矢川プラス	14時～ 広島原爆	15時～ 東京大空襲	1月～3月開催 申込WEBフォーム
令和8年 1月17日(土)	市内施設	14時～ 長崎原爆	15時～ 広島原爆	QRコード
令和8年 3月7日(土)	市内施設	14時～ 東京大空襲	15時～ 長崎原爆	

国立市 政策経営部 市長室  
平和・人権・ダイバーシティ推進係

電話：042-576-2111（内線229・256）  
ファクス：042-576-0264  
メール：sec\_diversity@city.kunitachi.lg.jp

▼ 国立市ホームページのQRコード ▼



## ◆体験者の方々（伝承者はこの方々の体験を語り継いでいます。）



東京大空襲を体験

にへいはるよ  
**二瓶治代さん**  
1936年（昭和11年）生

8歳のときに東京大空襲に遭い、亀戸で被災。家族とはぐれて炎の中を逃げまどい、折り重なる死体の下で一命を取り留める。奇跡的に家族と再会するも、前日まで遊んでいた多くの友人が犠牲に。



広島で被爆

ひらただみち  
**平田忠道さん**  
1930年（昭和5年）生／2019年逝去

1945年4月、東京都麻布から父親が転勤していた広島へ、母親と妹、2人の弟とともに転居。そのわずか4か月後、中学3年生だった平田さんは、広島市北部にある可部町での勤労働員の作業中に被爆。



長崎で被爆

かつらしげゆき  
**桂茂之さん**  
1930年（昭和5年）生／2017年逝去

当時、長崎中学3年生だった桂さんは、学校で製造した部品を大八車に乗せて、同級生4人1組で三菱造船所に運ぶ途中、長崎駅付近で被爆。



## ～講話を聴いた方々から寄せられた感想の例～

戦争という非常時の中でも人間らしさを失わず、人に優しくされたエピソードを聞き、心が温かくなりました。

今日聞いたお話のことを、家族にも伝えたいと思います。

## ◆活動形式

- ・定期講話: 市内の公共施設で定期的に開催（表紙に日程記載）
- ・学校講話: 市内の市立小中学校で開催
- ・派遣講話: 団体や企業、学校などから依頼を受けて伝承者を派遣（国立市、または広島・長崎原爆死没者追悼平和祈念館より派遣）

## くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者 派遣概要

東京都国立市では、市内在住の広島原爆・長崎原爆及び東京大空襲の体験者の体験と思いを、一人でも多くの方に語り継ぐため、「くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者」の派遣を行っています。学校・自治体・民間企業・市民グループなどを対象に、全国に伝承者を派遣します。

講話：広島原爆・長崎原爆・東京大空襲  
時間：1回の講話は約35分間(質疑等の実施の希望については、ご相談ください)。

費用：無料 ※ただし、東京大空襲の伝承者を東京都外に派遣する場合は、謝金2,000円+交通費実費を伝承者にお支払いいただきます。

## 申し込みから開催の流れ

申し込みの受付

派遣の可否の連絡

派遣者名等の派遣内容の連絡

派遣者と電話等で打ち合わせ

会場への派遣、開催

### 申し込み期限

国立市：開催日の1か月前まで

広島・長崎原爆死没者追悼平和祈念館：  
原則、派遣希望月の3か月前の月の月末まで

※申込・派遣に関する注意事項は、各申込先にて必ずご確認ください

## 申込先

